

HIV 訴訟と和解後の歩み

1982年 7月16日	米国CDC、血友病患者の感染者3例報告
1983年 7月 5日	帝京大症例患者死亡
1985年 7月	第Ⅷ因子製剤の加熱処理製剤の一括承認。
1989年 5月 8日	大阪HIV訴訟提訴（原告2名）
10月27日	東京HIV訴訟提訴（原告14名）
1995年10月 6日	東京地裁、大阪地裁、和解勧告・所見を出す
1996年 2月14日	原告被害者、厳冬期に厚生省に向かって座り込み（～16日）
3月29日	被告国、製薬企業5社に加害責任を認めさせた和解成立
9月19日	菅直人厚生大臣との協議（定期的に大臣協議が行われるようになる）
1997年 4月 1日	はばたき福祉事業団設立
4月 1日	エイズ治療・研究開発センター（ACC）開設
10月 1日	ACC病棟開棟式（小泉純一郎厚生大臣出席）
1999年 8月24日	薬害根絶「誓いの碑」建立
2000年 9月23日	ネットワーク医療と人権設立
2001年 5月	薬害HIV感染被害者（遺族）生活被害実態調査 着手
2002年 4月27日	薬害エイズ裁判和解6周年記念集会開催
7月25日	「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」（血液新法）成立
2003年 3月29日	薬害エイズ裁判和解7周年記念集会（坂口力厚生労働大臣 出席）
2003年12月12日	「薬害HIV感染被害者（遺族）生活被害実態調査総合報告書」発刊
2004年 4月	「薬害HIV感染被害者（患者・家族）調査」着手
2004年 5月24日	薬害エイズ裁判和解8周年記念集会開催
2005年 3月25日	薬害エイズ裁判和解9周年記念集会開催
2006年 3月25日	薬害エイズ裁判和解10周年記念集会開催
8月30日	社会福祉法人 はばたき福祉事業団 設立
10月	「薬害HIV感染患者とその家族への質問紙調査報告書」発刊
2007年 3月24日	薬害エイズ裁判和解11周年記念集会開催
2008年 3月29日	薬害エイズ裁判和解12周年記念集会開催
2009年 3月28日	薬害エイズ裁判和解13周年記念集会開催
2010年 3月27日	薬害エイズ裁判和解14周年記念集会開催（大阪での開催）
2010年12月	遺族支援に向けた実態調査開始
2011年 3月26日	薬害エイズ裁判和解15周年記念集会開催
2011年12月	遺族支援のための調査研究事業において健康診断試行実施
2012年 3月24日	薬害エイズ裁判和解16周年記念集会開催
2012年 4月	遺族健康診断 実施（ACC・大阪医療センター）
2012年 4月	遺族の相互支援事業 開始
2013年 3月23日	薬害エイズ裁判和解17周年記念集会開催
2014年 3月29日	薬害エイズ裁判和解18周年記念集会開催（菅直人元総理 講演）
2015年 3月28日	薬害エイズ裁判和解19周年記念集会開催
2016年 3月	血友病薬害被害者手帳 発行
2016年 3月26日	薬害エイズ裁判和解20周年記念集会開催

薬害エイズ裁判 和解 21 周年記念集会 式次第

日時：平成 29 年 3 月 25 日(土)14:00～16:00
会場：ステーションコンファレンス東京 402CD
主催：東京 HIV 訴訟原告団／弁護士
大阪 HIV 訴訟原告団／弁護士
事務局：社会福祉法人はばたき福祉事業団

司会：東京 HIV 訴訟原告団 武田 飛呂城

1. 開会挨拶

東京 HIV 訴訟原告団 代表 後藤 智己

2. 黙祷

3. 献花

4. 来賓挨拶

5. 講演「エイズが日本に入った時代と 医科研の診療」

島田馨先生（元東大医科学研究所病院 院長）

6. 弁護士挨拶

東京 HIV 訴訟弁護士団 団長 清水 洋二

大阪 HIV 訴訟弁護士団 塩野隆史

7. 閉会挨拶

大阪 HIV 訴訟原告団 代表 花井 十伍